

2026年度日本マスターズ水泳短水路大会広島会場

「日本マスターズ水泳短水路大会広島会場」にお申込みいただきありがとうございました。

全競技を円滑に終了するためには、参加者の皆様のご協力が不可欠です。

つきましては、参加者の皆様に、下記の事項についての周知徹底をよろしく願いいたします。

1. 開催日 2026年4月29日(水・祝)
2. 会場 広島県立総合体育館プール(公認25m×7レーン)
3. 交通 バス…「紙屋町」・「バスセンター」下車
路面電車…「紙屋町西」・「原爆ドーム前」下車
アストラムライン…「県庁前」下車(西2出口 基町クレド側)
駐車場…広島県立総合体育館地下2階(有料)
近隣に有料駐車場

4. 競技スケジュール

4月29日(水・祝)大会当日 * 監督者会議は行いません。

① 開場 7:30

更衣室・プールは、選手・監督のみ入場とします。応援の方は、入場できません。

選手控室は、中会議室・大会議室を利用してください。

②ウォーミングアップ 7:40～9:10 (パドル・フィン等用具の使用を禁止します)

*ウォーミングアップ 1～3レーン女子、4～7レーン男子(1・7ダッシュレーンとします)

③公式スタート練習 8:10～8:40

④競技開始 9:30

- No. 1 女子 200m 自由形 2組 09:30
- No. 2 男子 200m 自由形 4組 09:38
- No. 3 女子 200m 個人メドレー 2組 09:55
- No. 4 男子 200m 個人メドレー 2組 10:05
- No. 5 混合 4x 25m メドレーリレー 4組 10:13
- No. 6 女子 50m 背泳ぎ 4組 10:25
- No. 7 男子 50m 背泳ぎ 3組 10:32
- No. 8 女子 50m 平泳ぎ 4組 10:38
- No. 9 男子 50m 平泳ぎ 6組 10:46
- No. 10 女子 50m バタフライ 3組 10:57
- No. 11 男子 50m バタフライ 5組 11:02
- No. 12 女子 50m 自由形 7組 11:11
- No. 13 男子 50m 自由形 10組 11:25
- No. 14 女子 4x 50m メドレーリレー 1組 11:42
- No. 15 男子 4x 50m メドレーリレー 2組 11:47
- 休憩 54分 00秒
- No. 16 女子 25m 背泳ぎ 4組 12:50
- No. 17 男子 25m 背泳ぎ 3組 12:57
- No. 18 女子 25m 平泳ぎ 4組 13:01
- No. 19 男子 25m 平泳ぎ 3組 13:08

No. 20 女子 25m バタフライ 5組 13:12

No. 21 男子 25m バタフライ 4組 13:19

No. 22 女子 25m 自由形 8組 13:25

No. 23 男子 25m 自由形 6組 13:36

休憩 26分00秒

No. 24 混合 4x 25m フリーリレー 3組 14:10

No. 25 女子 100m 背泳ぎ 2組 14:18

No. 26 男子 100m 背泳ぎ 1組 14:24

No. 27 女子 100m 平泳ぎ 2組 14:27

No. 28 男子 100m 平泳ぎ 3組 14:32

No. 29 女子 100m バタフライ 1組 14:41

No. 30 男子 100m バタフライ 2組 14:44

No. 31 女子 100m 自由形 2組 14:49

No. 32 男子 100m 自由形 5組 14:57

No. 33 女子 100m 個人メドレー 3組 15:08

No. 34 男子 100m 個人メドレー 4組 15:19

休憩 10分00秒

No. 35 女子 4x 50m フリーリレー 1組 15:40

No. 36 男子 4x 50m フリーリレー 1組 15:44

競技終了予定 15:48

⑤リレーオーダー変更締切時刻	No5 混合4×25メドレーリレー	9:10
	No14.15 女・男4×50メドレーリレー	10:20
	No24 混合4×25フリーリレー	12:50
	No35.36 女・男4×50フリーリレー	14:20

5. ADカード

(1)チーム責任者は、総合受付でADカードを必ず受け取ってください。

ADカードは、日本マスタース水泳短水路大会広島会場の参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付など大会期間中必要になりますので、会場では首から下げるなど見える位置に必ず携帯してください。

(2)「ADカード」を紛失した場合は、再発行をうけてください。再発行手数料として500円が必要となります。

6. 受付

「チーム受付」は、「チーム受付票(別紙)」を各自で記入し、チーム責任者またはチーム代表者が受付へ提出し、参加者分のADカード、参加賞、プログラム(申込分)を受け取ってください。

7. 競技方法

(1)本大会は一般社団法人日本マスタース水泳協会競泳競技規則に則り行います。

(2)組み分けは、男女別(混合リレーを除く)および原則として、年齢区分別に高年齢から低年齢へ、エントリータイムの遅い順に行います。

(3)組み分けされている種目で、棄権者が多数出た場合、前後の組と合同で競技を行う場合があります。

(4)競技時間はあくまで予定です。競技時間は競技の進行により前後します。招集受付に遅れると棄権扱いとなりますので、遅れることのないよう招集所へお越しください。

8. 招集 ※リレー種目についての詳細は「リレー種目」を確認してください。

(1) 招集所は、プールサイド入口シャワー場となります。

(2) 招集では「ADカード」が必要です。「競技種目」・「お名前」・「所属チーム」をお呼びします。ADカードを提示の上、出場チェックを受けてください。

9. スタート/プールからの退場

○スタート

(1) オーバー・ザ・トップ方式で行います。必ず競技役員の指示に従ってください。

(2) マスターズ水泳では背泳ぎ以外の種目は、①スタート台上、②プールデッキ、③水中から、スタートすることができます。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全上の理由により、プールデッキや水中からのスタートをお願いします。

(3) メインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに用意されている「水浴び用バケツ」をご使用ください。

○プールからの退水方法

(1) 競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意しながら、横から退水してください。(顔を水面に上げて移動をしてください)

10. リレー種目

(1) リレーオーダーを変更する場合(締め切り時間までに1回のみ)は、「リレーオーダー変更届」を提出してください。

※ 種目、年齢区分の変更はできません。

※ 同一リレー種目には、年齢区分に関わらず 1 人 1 回しか出場できません。

※ オーダー変更締め切後の泳者および泳者順序の変更は認められません。

(2) 招集所へは、「ADカード」をお持ちのうえ 4 名揃ってご集合ください。4 名揃わないと招集を受けることができません。

(3) リレーの第2泳者以降が水中からのスタートを希望するチームは、出場申告用紙に記入のうえ、受付へ申告してください。申告がなく水中からスタートした場合は、失格になります。

11. 表彰/記録

(1) 出場選手全員に参加賞を授与します。公認記録証は、チーム責任者またはご本人が日本マスターズ水泳協会ホームページより会員ログインし、出力してください。

(2) 各種目の年齢区分ごとに、個人種目 8 位 リレー種目 3 位までの方に賞状を授与します。入賞された方は、ADカードを提示してお受け取りください。

(3) 各種目の男女すべての組の終了後、その種目の男女別、年齢区分別のランキングを公式掲示板に掲示します。

(4) 日本記録・世界記録の公認には、世界水泳連盟(WORLD AQUATICS)が公認した水着の着用が必須です。日本記録・世界記録を突破された場合、泳者の生年月日を証明する下記いずれかのコピーが必要になりますのでご準備ください。

※ 世界新記録: パスポート、住民票(3ヶ月以内のもの)

※ 日本新記録: パスポート、運転免許証、マイナンバーカード、住民票(3ヶ月以内のもの)

(5) マスターズ水泳日本記録を突破した選手およびリレーチームには「日本新記録証」を、世界水泳連盟(WORLD AQUATICS)認定のマスターズ水泳世界記録を突破した選手およびリレーチームには、「世界新記録証」を授与します。

12. 申告

大会参加にあたって、以下に該当する方は出場種目開始予定時間の1時間前までに受付に申告してください。審判長が確認のうえ、判断します。

(1)テープ等をされる方

※怪我によって必要な場合、審判長の許可があれば1本または2本の手の指、足の指へのテープが認められます。必要な場合は必ず申告してください。その他のテープ等は、競技規則上認められません。やむを得ず使用の承認が必要な場合は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で受付へお越してください。(指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は基本的に許可できません)。

(2)障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方

※申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

(3)出場に介助が必要な方

※チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません(スタート台上に上がる際に補助をすること、一緒に水中に入ることは不可)。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

(4)リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

※世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中スタートした場合、世界記録を突破しても公認されません。

※申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。

(5)世界記録に挑戦される方およびチームのうち、レース中の挑戦コールを希望する方

※レース中の挑戦コールを希望する場合のみ事前に「世界記録申請用紙」に必要事項を記入のうえ、申告してください。

13. 異議申し立てについて

異議申し立て(抗議書の提出)は、チームの責任者が行ってください。

選手本人からの申し立ては受け付けられません。競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のあるときはそのランキング発表後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料 50,000 円を添えて受付に提出してください。抗議書の内容を審判長ならびに大会総務で裁定します。また、抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が棄却された場合は抗議料を返金しません。

その他、違反内容の問合せについては選手本人からでも可能です。指定用紙に記入のうえ、受付にお申し出ください。

14. 施設使用上の注意

(1)プールサイドは土足禁止、選手は素足でお願いします。床が滑りやすいのでご注意ください。

(2)プール以外の施設は一般利用されていますので使用マナーを守り、体育館ロビーや通路を水着や素足で通行することをご遠慮ください。

(3)プールサイド、プールロビー、体育館内ロビーの場所取りはご遠慮ください。

(4)更衣室ロッカーは使用できますが、ロッカーの鍵を間違えて持ち帰った場合は速やかにお返してください。更衣室は更衣のみの利用とし、更衣後の荷物は各自で管理をお願いします。

(5)貴重品・荷物は各チーム、各自で管理をお願いします。

(6)プール隣接のトレーニングルームへは立ち入らないでください。

(7)マスターズスイマーとしてマナーを守り、館内をきれいに利用しましょう。ゴミ等は、各自でお持ち帰りください。

(8)以下のことは禁止します。

①館内ロビー、通路にシートを敷くこと(防災上禁止)

②火気の使用

- ③喫煙(喫煙は戸外の指定場所のみ)
- ④会場内外でのテープ類、くぎ、画びょう等の使用
- ⑤ビン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み
- ⑥会場内電源の使用

15. 健康管理

- (1)大会中の健康管理は本人の責任とし、体調には十分留意してください。こまめに水分補給をしてください。
- (2)会場内で、体調不良や怪我をした場合は、救護所(プールサイド中央)にて応急処置を行います。
- (3)当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4)マスターズ水泳キーワード9の実践をお願いします。
- (5)大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

16. その他

- (1)お申込み時および AD カードにご記入の大会当日緊急時の連絡先は、事故・怪我の発生など万が一の際に実行委員会で使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も以下のとおり準備をお願いします。
 - ①責任者が会場へ同行される場合
出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
 - ②責任者が会場に同行されない場合
大会当日、緊急時に選手のご家族等に連絡が取れるよう準備してください。
※緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (2)大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (3)大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は「参加賞」「プログラム(申込分)」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返却できません。
- (4)個人情報ならびに肖像の取扱いについて
大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取扱いについては以下のとおりです。
 - ①個人情報
 - ・プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
 - ・競技結果としてホームページ等の媒体に掲載します。
 - ②肖像
 - ・大会報告としてホームページ等の媒体に使用します。
 - ・マスターズ水泳の普及活動のため各種媒体に使用します。
 - ・大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は主催者・主管団体に帰属します。
- (5)競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の WEB サイトや他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。また、会場 BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。

主催者・主管からの連絡事項

(一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則(抜粋)(カッコ内:競技規則条項)

1 出発について(背泳ぎを除く)

- a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。(第4条1項)
- b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。(第4条1項)
- c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。(第4条1項)
- d. 出発合図の前にスタートの動作を開始した競技者は失格となる。(第4条3項)

2 自由形について

競技中は泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、スタート後・折り返し後の壁から15m以内の距離では体が完全に水没してもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。(第5条3項)

3 平泳ぎについて

- a. 両腕の動作は、同時に行われなければならない。交互に動かしてはならない。(第7条2項)
- b. 両脚の動作は、同時でなければならない。交互に動かしてはならない。(第7条4項)

4 バタフライについて

- a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。(第8条3項)
- b. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールまで体は水面上に出ていなければならない。(第8条5項)

5 メドレー競技について

個人メドレーでは、自由形の際に壁から足が離れたときはあおむけの状態であってもよいが、うつぶせの状態になるまでは、バタフライの蹴りも含めていかなる足の蹴りも行ってはならない。(第9条1項)

6 競技終了後の退水について

泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。(第10条9項)

7 リレー競技の第1泳者の記録について

4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。(第13条5項)

8 水着の規定について

競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。(第15条1項)

チーム受付票

所属番号	
チーム名	
受取者氏名	

※チーム受付の際には、必ずこのチーム受付票を受付へ提出してください。